

医療の現場から

マンモグラフィーのはなし ～新しい装置に更新されました～

放射線科 診療放射線技師 山平 和孝



マンモグラフィー
撮影室

● 10月の救急医療機関 ●

平日

電話で時間外診療の協力医療機関をお知らせします。
時間外夜間急病テレホンセンター
Tel22-2299

休日

【内科・小児科】

診療時間 8時30分～翌日8時30分
市立病院
Tel22-4311 (大町2-2)

【外科】

診療時間 8時30分～翌日8時30分
1日(日) 市立病院
8日(日) 滝川脳神経外科
9日(月) 市立病院
15日(日) 滝川脳神経外科
22日(日) 市立病院
29日(日) 滝川脳神経外科
※市立病院
Tel22-4311 (大町2-2)
※滝川脳神経外科
Tel22-0250 (西町1-2)

【歯科】

診療時間 9時～12時
1日(日) フジタ歯科医院
Tel24-8211 (朝日町東4-1)
8日(日) メープル歯科医院
Tel24-5800 (東町5-8)
9日(月) コスモデンタルクリニック
Tel23-3630 (大町3-4)
15日(日) 武内歯科医院
Tel23-3525 (大町2-1)
22日(日) しらかば歯科
Tel76-4181 (新十津川町中央308)
29日(日) 多比良歯科医院
Tel54-3510 (砂川市東7南5)

ここ最近、芸能人の闘病の様子がマスコミで大きく取り上げられるなど、乳がんに関する話題をよく耳にします。

乳がんは1975年以降増加傾向にあり、現在女性のがんの中で一番多いそうです。幸い、乳がんはほかのがんに比べて生存率が高く、早期発見・早期治療のため検診の重要性が指摘されています。

市立病院でも以前から乳がん検診を行っています。主な内容は「医師による視触診」と「マンモグラフィー」です。これをお読みになっている方の中にも、受診したことがある方がいるかもしれませんね。

ところで、マンモグラフィーと普通のレントゲンは、何が違うのでしょうか。

です。乳房は乳腺、脂肪、血管といった柔らかいものばかりからできていて、普通のレントゲンではそれらがひと塊に写ってしまい、何が写っているのか区別がつかません。一方、マンモグラフィー撮影装置では、特殊なX線を発生させて撮影します。この特殊なX線を使うことで、普通のX線よりも組織の違いをよりはっきり区別して写すことができます。脂肪は黒く、乳腺や血管、そして腫瘍などは全部白っぽく写るのですが、それぞれの「白さの濃さ」が違うので内部の様子がわかるのです。

また、その重なり合った塊をなるべく広げて分離させ、違いを際立たせるため機械で乳房をはさみます。これが痛い和不評なのですが、圧迫して薄くするほど被ばくの量も減るため、なんとか協力を

していただきたいところです。ちなみに、乳腺が張っていない時期に検査を受けていたと比べると比較的楽だと思います。

さて、このたび、約10年ぶりにマンモグラフィー装置が新しくなりました。主な改善点としては次のことが挙げられます。

- ① X線の質と検査する装置が改善され、細かいところまできれいに写るようになった。
- ② 撮影してから画像が出るまでの時間が短くなり、早く確認ができるようになった。
- ③ 乳房の形にあわせてX線の量が自動的に調整されるため、被ばく量が少なくなった。
- ④ 乳房をはさむ部品(圧迫板)が改良され押される痛みが軽減された。
- ⑤ 医師が写真を見るパソコン画面が改良され、より見やすくなった。



*実際に撮るのは、私たち女性技師です。どうか安心して受診してくださいね！

せっかくの高性能の装置ですから、その性能を十分に引き出し、皆様のお役に立てるよう私たち技師も日々努力を重ねています。ほかの検査装置の操作技術も含め、これからも診療放射線技師としての立場で地域の医療に貢献するため頑張ります。